## 公共事業新規評価調書(維持系)

本部・部名 県土づくり本部 課 名 農山漁村課 事業名 建設海岸管理費 海岸保全 種 別 海岸 事業区分 維持管理

有明海沿岸は低平地が多く過去に高潮による甚大な被害が発生しており、高潮におけるリスクが高い地域である。このようなことから、海岸堤防に監視カメラ4台を再編設置し映像を発信する環境を整備することにより、高潮発生時の状況を安全に確認し、堤防決壊等の非常時の速やかな対応に活用するとともに、地域住民への情報提供により、防災に対する意識の向上を図る。

	自然環境	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
定性評価	生活環境	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行・
足圧計画	コスト縮減	既存の通信用の光ケーブルを利活用し、設置費用のコスト縮減を図る。
	その他	

公共事	業新規評価	価調書																																								
				事	業費							評化		点:位置										評価社	視点:必	要性·	効果								評価視	点:実	施環境	竟				判断
									評価技	指標: よ	点検診 る判定	断結果	اد ] ا	評価指 にる判定	標: 点核 (対象 重要	幾器、	結果に 施設の	点数計	評	価指標	: 構造	上の課			指標:前 らの経	年			目視判	断		評	価指標	:想定神 状況	被災区	域の言	平価指こよる#	≦標∶操 判定	作性	点数計		I 優 先的
									専門	業者/ 点検	こよる診 報告	浙	数	対象機	器の重	要度	点数		施記	没設置:	からの糸		点数	前回	修繕から 経年	<sub>ට</sub> ්	点数	目視に。 箇所ので 錆の度で	<る、破 与無及で 合い	損し点が	数	4	上地家原	屋等の <sup>,</sup>	保全	点数	操作	作性	点数			先に業を実施
事務所名	箇所番号	箇所名	事 業 地	全体額	要望	公共単独の別	以 E E	事業概要	緊急を要する	修繕が望ましい	低でも機能	機能は十分発揮できる		主要機器である	機器に影響が属施設であ	後号 こ ジ 聖			10年以上	5 1 0 年	1 ~ 5 年	1年未満		5年以上	5年未満			被損箇所が	破損箇所が見受ける	常		背後地に集落等がある	後地に人家等が	背後也にへ戻するRE	山村である		悪 音通	普 良い			評価	
-1	, ,	, i	75		百万円	731 125	,		(60)	(40)	(30) (	(0) (6	60) (	40) (3	0) (0	)	(40)	(100)	(60)	(50)	(40)	(0)	(60)	(20)	(10)	(	(20)	(20) (	10) (	0) (2	0) (10	0) (60	)) (50	) (40)	(0)	(60)(4	40)(2	20)(0	)(40)	(100)	,	
佐賀		有明海沿岸	佐賀市、白石町、鹿島市	90.8	90.8	単独 H2	海 26 N:	毎岸監視カメラ設置 =4基	60	·			60	40			40	100	60				60	20			20	20			20 10	0	50			50 4	40		40	90	ААА	I

 
 公共事業新規評価調書(維持系)

 本部·部名 県土づい本部 課 名 農山漁村課 事業名 別 漁港 事業区分 維持管理
県営漁港小規模事業費(緊急経済対策)

本漁港は、有明海湾奥部で福所江の河口に位置し、佐賀市久保田町及び小城市芦刈町の両町にまたがる漁港である。当地区小城市側の芦刈下流側取付道路の基礎鋼管杭に腐食による貫通孔があり、今年4月上旬から通行止めしている。早急に補修工事を実施し、漁港施設の適正な維持管理を行うと共に、迂回路の仮橋を設置することにより、海苔時期における安全な漁業活動の確保を図るものである。

	自然環境	防食工法においては、有明海の環境に影響のない材料等を検討し行うなど、自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
定性評価	生活環境	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
足注計画	コスト縮 減	仮橋設置にともなう現道取付部については、砕石については再生材を使用していく。また、盛土材についても他事業の掘削土を流用する予定である。
	その他	

佐賀		務 所		
福		箇所番号		
高所江漁港		箇所名		
小城市		事業地		
57.5 57.5	百万円 百万円	全体額要望額		事業費
単独		公共単独の別		
·仮橋設置 一式 ·詳細調查、設計委 記 一式 ·芦刈下流側取付道 路(桟橋)補修工事 (L=37.1m、橋脚基 礎鋼管杭補修10本		事業概要 完成予定年度		
Ī	(60) (30	漁港漁場 備法での位置 3 種・2 種	評価指標: 置付	
) 30	(60)	港 ナ 一		評価を
40	(40)	漁港		見点:位
	(0)	施施ある。該当なし	指標:機能割	置付け
40	(40) <b>(1</b>	/m 3A	上·役 上·役 点数	
70	(00)			
50	60) (50	#####################################	҈価指標∶	
	) (0)	1 1 0 0 未満	費用対象 C)	
50	(60)		h果(B∕	
	(40)	土漁 障がある 障がある	評化	
	(20)	か動 る	面指標:旅 (浚渫の	
	(0)	に悪利用に支障がない	施設の現 場合)	評価
0	(20)	<u>-</u>	記況	児点:必
30	(30)	土漁 状況である 状況である は傷が著しく利用できない	評価(施設	要性:3
	(20) (0)	(土)	西指標:施設の 後の維持管理の	効果
30	(20)		現況 ()場合)	
10	(10)	代能影響あり	評価指足度()理	
	(0)	函設機 ┃	の場合	
10	(20) <b>(1</b>	/m 304	から	
90	00) (60	関がの調整が図られている関がで、負担己・用地買収な	数計 評価 	
40	) (40)	業に対し要望が強く協的で、同意が得られて実望が強く	指標:関係者	
4	0) (60		の合意形	評価
10 40	) (40			視点:
	) (20)	に 協議中等	平価指標:	実施環境
	(0)			
40	(40)	111.304		
80 E	(100)		点数計	
В А А		評価		
I		実 工業実 工業施見わる 事を施 事実を合せる	Ⅰ優 先的 に事 業を	判断